



地域と学校と社協ですすめる 始めよう！福祉教育

地域共生社会って
なんだろう？

高齢の方、障がいのある方って
どんな人だろう？
何に困っているのかな？
どうやって手助けしたら…？

ユニバーサルデザイン？
バリアフリーと
何が違うの？

地域の人と交流も
できたらいいな

「まちのやさしさ発見」
住みやすいまちづくりについて
考える参考にしたい

色々な体験を通して
学びを深め、
視野を広げたい

あったか応援センター(ボランティアセンター)



社会福祉法人 東広島市社会福祉協議会

● ● ● ● ● 目次 ● ● ● ● ●

①福祉とは？福祉教育とは？	… 2 ページ
②キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！	… 3 ページ
③福祉教育のことなら、まずは 社協にご相談ください！	… 14 ページ
④福祉の学習メニューについて	… 15 ページ
（目の不自由な方への理解を深める）	
・アイマスク体験	… 15 ページ
・点字体験	… 15 ページ
・音訳体験	… 15 ページ
・盲導犬の学習	… 16 ページ
（耳の不自由な方への理解を深める）	
・手話体験	… 16 ページ
・要約筆記体験	… 16 ページ
（足の不自由な方への理解を深める）	
・車いす体験	… 17 ページ
（高齢の方への理解を深める）	
・高齢者疑似体験	… 17 ページ
・認知症サポーター養成講座	… 17 ページ
（防災・減災への理解を深める）	
・災害カードゲーム クロスロード	… 18 ページ
・避難所運営ゲームHUG	… 18 ページ
・防災カルタ	… 19 ページ
・きいちゃんの避難ゲーム（和歌山県）	
（その他）	
・福祉の職場魅力発見授業	… 20 ページ
・映画「ケアニン～こころに咲く花～」	… 20 ページ
・VR 車いす体験	
・動画・プリント教材の提供（広島県介護福祉士会監修）	… 20 ページ
	… 21 ページ

これから福祉教育に取り組む皆さんへ

福祉とは？ 福祉教育とは？

「福祉」ってどんなことだと思いますか？

福祉の「福」と「祉」…どちらも「しあわせ」という意味

福祉（ふくし）…「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」

福祉は、高齢者や障がいのある方、何かに困っている人のための特別なものではなく、すべての人にとって大切なものです。毎日の生活の中で、色々な人と関わりながら、助けたり、助けられたりすることがあると思います。

自分たちが生活している地域が、誰にとっても住みやすい地域になるように、できることを皆で考え、お互いに支え合うことこそが「福祉」なのです。

「福祉教育」と聞いてどのようなことを連想しますか？

すべての人の「**ふ**だんの**く**らしの**し**あわせ」を実現させるためにどうしたらよいかを考え、周りの人たちと一緒に実践できるようにしていく「ともに生きる力」を育むことが福祉教育の目的です。

自分たちの生活している地域が、誰にとっても住みやすい地域になるようにするには、子ども、障がいのある方、高齢者、すべての人がそれぞれ役割を持ち、支え合いながら暮らせる地域を自分たちで作り上げていく必要があります。

そのことを、子どもの頃から「**自分ごと**」として意識し、地域社会の一員としての土台作りをするために、「福祉教育」は、学校のみだけでなく、地域の方々の力も活用しながら展開することが大切です。

参考：社会福祉法人 全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター「地域共生社会に向けた福祉教育の展開」（2019年10月）

子どもたちが自分たちの住む地域の課題を「**自分ごと**」として捉え、「**自分ができることは何か？**」と考え始めたキラツとかがやく学校の取り組みを、次ページよりご紹介します！





令和5年度実施 キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



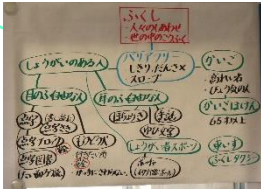
学校のねらい

東広島市立造賀小学校 3年生 14名

「みんなが助け合い笑顔になる生活を」をテーマに、どうすれば造賀に住む人々が豊かに暮らせるのか、そのために今自分たちにできることは何なのかを考え、実践しようとする意欲を育てたい。
 ・同じ地域で暮らす様々な人々とふれあい、地域の人々の想いや学習での体験から見つけた課題を探求することを通して、地域や地域に住む人々を大切にしてもらいたい。

取り組みの内容

①学校のまわりを探検し、自分たちが暮らす地域が笑顔になれる場所か調べてみよう!(社会と関連)



②地域の施設職員さんから、高齢者のことや、より身近な福祉について教えてもらい、福祉への理解を深めよう!

③様々な人々の生活や気持ち、困りごとについて考え、地域 みんなが笑顔で生活するために、自分たちに何ができるかを話し合おう!



福祉体験学習やパラスポーツ、地域の方へのインタビューを行った。

⑤施設で生活している高齢者の方を笑顔にするために、自分たちにできることを企画し、実際に行動しよう!



造賀福祉園の利用者さんとのオンライン交流会を企画、実施した。

④地域 みんなが笑顔になるために、自分たちにできることを周りの人々に発信して広めよう!



福祉に関する様々なテーマについて自分たちが考えたことを学習発表会で伝えた。

⑥1年間を通して学んだこと、考えたことを振り返り、地域の中で自分にできることを伝え合おう!



みんなが笑顔になれる福祉グッズを考えて発明した。

成果

- 子どもたちが力を合わせて、「みんなを笑顔にしたい、元気にしたい」という目標を達成することができた。
- 地域に住む人々が豊かに暮らすために、自分たちにできることを主体的に考え実践し、相手も自分も笑顔になる経験ができた。

取り組んだ児童の声

- 地域の人々や造賀福祉園の高齢者の方が、自分たちと一緒に笑顔になってくれてうれしかった。
- これからも色々な人に「福祉」の大切さを伝え、みんなが助け合うことを呼びかけていきたい。

社会福祉協議会(社協)のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 民生委員児童委員や福祉専門職の方に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 福祉教材の貸し出しを行う。
- 児童や学校から質問があった際は、その都度地域の方や福祉専門職の方とつなぐ。
- 社協公式 SNS を活用し、取り組みの周知を行う。





令和5年度実施 キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



学校のねらい

東広島市立龍王小学校 4年生 164名

- 地域の人々との交流や福祉体験学習を通して、自分たちの地域や身近にある、誰もが過ごしやすい工夫や取り組みに気づいた上で、探求していきたい自分の課題を持ってもらいたい。
- 様々な人々の生活や想い、困りごとに気づき、誰もが暮らしやすい龍王地域にするために自分たちにできることを主体的に考え、実践することができる力を育てたい。

取り組みの内容

①福祉について理解を深めるために、自分たち一人ひとりの「ふだんのくらしのしあわせ」はどんなことか考えてみよう！



②同じ地域で暮らしている車いすユーザーの方と一緒に、みんなで助け合うことの大切さについて考えよう！

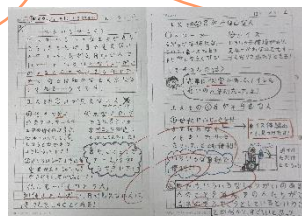


③地域の方々と一緒に福祉体験学習に取り組み、地域で生活する上での困りごとや、自分たちにできる助け合いについて考えよう！



⑥誰もが過ごしやすい龍王地域にするために、自分たちにできることを周りの人々に発信し広めよう！

児童がスライドを作成し、周囲の人々に向けて発表した。



⑤これまで学んだことを振り返り、自分の想いや考えが相手に伝わるようにまとめてみよう！

④誰もが過ごしやすい学校、暮らしやすい龍王地域にするために、自分たちにできることを考え、実践しよう！

児童が点字を作成し、学校内に掲示した。



社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 当事者の方や福祉専門職の方に講師(ゲストティーチャー)を依頼し、学校とつなぐ。
- 民生委員児童委員やボランティアに協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 福祉教材の貸し出しを行う。
- 児童や学校から質問があった際は、その都度当事者の方や地域の方とつなぐ。
- 社協公式 SNS を活用し、取り組みの周知を行う。

成果

- 身近にある、誰もが過ごしやすい工夫や助け合いに気づき、周りの人々を大切にしようとする意欲を育てることができた。
- 自分の想いや考えが相手に伝わるよう、自信を持って周りの人々に発表することができた。

取り組んだ児童の声

- 周りの人の立場になって考えると、助け合うために自分に何ができるのかが分かった。
- 自分が行動することで、周りの人とつながりができ、みんなが幸せに過ごすことができると思った。
- 違いを区別せず、お互いが違いを受け入れることで、自分もみんなも幸せに過ごせると思った。





令和5年度実施 キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



学校のねらい

東広島市立河内小学校 3年生 13名

- ・河内町は高齢者が多い地域。体験や交流を通して、高齢者の身体の不自由さや気持ちを理解し、他者への思いやりの心を育てたい。
- ・自分たちの暮らしは、地域の様々な人に支えられていることを知り、児童が地域の一員として、自分たちにできることを主体的に考え、行動しようとする意欲を育てたい。

取り組みの内容

①生活するときに「困っていること、大変なこと」についてお家の人にインタビューしよう！（課題発見）

②高齢の方の身体の不自由さや気持ちを理解するために、疑似体験や民生委員さんへインタビューしよう！

③家族や地域に認知症の人がいたらどうしますか？認知症を学び、自分たちにできることを考えよう！



高齢者疑似体験



認知症サポーター養成講座

④学習で学んだことを活かして、地域の施設利用者さんと交流しよう！

⑥お世話になった地域の方々に感謝の気持ちを伝えよう！

⑤福祉体験で学んだことを自分たちの力で表現しよう！



「ハッスルこうち」「リビングたまぼこ」を訪問し交流した。



ふれあいありがとうの会



新聞・劇・紙芝居で発表した。

成果

- ・福祉に関する色々な活動・体験を通して、高齢者に対する接し方について『やさしく大きな声で』など、自分たちにできることをしっかり考え学習することができた。
- ・河内町のみんなが笑顔で暮らせる地域づくりを目指して、自分たちにできることを考え、その思いをお世話になっている地域の方々へ伝えることができた。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- ・企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- ・民生委員児童委員や福祉施設、福祉専門職の方に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- ・福祉教材の貸し出しを行う。
- ・訪問先の福祉施設の紹介や交流会の内容等の打ち合わせを行い、学校と施設をつなぐ。
- ・支所だよりや地域の集まり等で取り組みの周知を行う。

取り組んだ児童の声

- ・おじいちゃん、おばあちゃんが笑顔になる町を目指して、自分にできることを頑張ります。
- ・河内町の「ふだんのくらしのしあわせ」をこれから考えていきます。
- ・認知症の人がいたらやさしく声をかけ、家まで一緒に行ってあげたいです。





令和5年度実施
キラッとかがやく★
学校の取り組みをご紹介します！



東広島市立八本松中学校 3年生 167名

学校のねらい

- 福祉を自分事として捉え、地域のためにできることを主体的に考えるとともに、地域の一員として積極的に地域に関わろうとする態度を育てたい。
- 地域との関わりや交流から、多様な人々が暮らす地域でお互いが理解し合いながら生活することや、人と人の繋がり大切さについて学んでもらいたい。

取り組みの内容

①パラスポーツ体験を通して、その魅力を知り、多様性への理解を深めよう！
(体育と関連)

車いすバスケットや車いすバドミントン、アダプテッドスポーツを体験した。



地域の方々と一緒に、福祉体験学習に取り組んだ。



②地域の中で多様な人々と理解し合いながら暮らすために、自分たちにできることを考えよう！

③介護福祉士さんのお話を聞き、介護・福祉の魅力や、多様な人々と尊重し合いながら生活することの大切さを学ぼう！

⑥地域の多様な人々と交流することで、一人ひとりの状況に合わせた関わり方を考える力を見つけてよう！
(体育と関連)

⑤地域で暮らす人々と理解し合いながら生活するために、地域の中で自分たちにできることを企画しよう！
(体育と関連)

④介護・福祉に対する理解を深め、周りの人との関わり方や、自分の将来について考えるきっかけにしよう！

地域のシニア世代、小学生、園児たちと共に楽しめる運動メニューを考案した。



地域住民、小学校、こども園と連携し、『八本松中学校体育教室』を企画した。



映画「ケアニン〜こころに咲く花」を視聴した。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 福祉専門職の方に講師(ゲストティーチャー)を依頼し、学校とつなぐ。
- 民生委員児童委員に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 福祉教材の貸し出しを行う。
- 児童や学校から質問があった際は、その都度地域の方とつなぐ。
- 地域住民や報道機関に情報提供し、取り組みの周知を行う。



成果

- 生徒が自分にどのようなことができるか考える中で、「共生」という視点について理解を深め、地域の人々との多様な関わり方を見つけることができた。
- 学習を通じて、地域の一員としてできることをしていきたいという意識の高まりがあった。

取り組んだ生徒の声

- 地域で暮らす様々な人を「自分とは違う」と突き放すのではなく、本当の意味で理解し合い、多様な人々とお互いに尊重し合うこと、助け合いながら一緒に地域で生きていくことを大切にしていきたい。



令和5年度実施 キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



東広島市立安芸津中学校 3年生 57名

学校のねらい

- 地域の魅力や課題、人々の思いを共感的にとらえると共に、生徒同士の意見交流を通して、新しい視点や方法を身に付けてもらいたい。
- 安芸津町の実態から課題を見つけ、地域の人と協働しながら「安芸津町の将来を担う」施策を考え、地域に発信し、将来自分がどう地域や社会に貢献していくべきか考えてもらいたい。

取り組みの内容（安芸津活性化プロジェクト）

①安芸津町内の生活状況や福祉の現状を学ぼう！

専門職の話から、地域の現状やボランティアの心得について学んだ。



②地域で認知症の方が安心して暮らせるよう、自分にできることを考えよう！（認知症サポーター養成講座）



③乳幼児とお母さんとふれあって、命の尊さやお母さんの気持ちを学ぼう！

④地域の方と交流し、地域での取り組みを知り、自分にできることを考えよう！

地域サロンや児童館、あきまる園、自立支援センターつばさでボランティア活動を行った。



⑥「すべての人が生活しやすい安芸津」を目指して作成した企画を広めよう！

地域の方など周囲の人に文化祭で発表したり、市内のICTコンテストに応募した。



⑤「すべての人が生活しやすい安芸津」を目指して、生徒が地域でできることを企画し、専門職と深めよう！



社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- 企画の段階から学校や関係機関と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 地域でのボランティア先について連絡調整を行い、学校での取り組み内容について随時連絡をとり連携した。

成果

- 地域の多様な人々との学びを通して、「人との関係の中で自分も幸せになることができる」ということを学び、「地域の一員」として「地域の活性化」について考えることができた。



取り組んだ生徒の声

- 体験をして企画を考えることで、これから積極的に地域のボランティア活動に参加したいと思った。
- 高齢者や乳幼児、地域の方と話をする中で「うれしいね」「ありがとう」という言葉をかけて頂いたことが嬉しかった。
- グループで活動して、意見が1つになった時や協力して何かできた時は、とてもうれしかった。



令和4年度実施 キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



東広島市立三永小学校 3年生 45名

学校のねらい

- 三永小学校の周りの地域や環境にふれ、地域の人々の願いや活動から見つけた課題を探求することを通して、地域や地域に住む人々を大切にしてもらいたい。
- 学校や地域で生活する中で、どんな困り事があるかを考え、どうすれば三永に住む人々が笑顔で過ごせるのか、そのために今自分たちにできることは何なのかを考えようとする意欲を育てたい。

取り組みの内容

①自分たちの学校がみんなにとってスマイルになれる場所か調べてみよう！（バリアフリー）

ポスターや案内を作成した。

②車いすユーザーの方や目の不自由な方に、学校で安心して過ごしてもらうために、自分たちにできることを考えよう！



③車いすユーザーの方や目の不自由な方と一緒に、みんなで助け合うことの大切さについて考えよう！



④地域の方々と一緒に福祉体験学習（車いす、アイマスク、盲導犬、認知症サポーター養成講座）に取り組み、学校や地域で生活する中で、どんな困りごとがあるか考えよう！



⑥1年間を通して学んだこと、考えたことを、学習発表会で周りのみんなに広めて、スマイルを増やそう！

⑤三永のみんながスマイルになれるように、できることを考え、行動しよう！「三永スマイルプロジェクト」



グループごとに福祉に関するテーマについて学んだことを発表した。



盲導犬を増やせるよう、児童が学校で募金活動と盲導犬についてPRする活動を行った。

成果

- 児童が特に関心の深い福祉テーマを取り上げてグループごとに解決方法を模索することで、主体的に学習に取り組むことができた。
- 三永の地域の良いところや、自分たちにできることを考え、実行したり、表現を工夫して発表することができた。

取り組んだ児童の声

- みんながスマイルになれる学校・三永のまちにしていくためには、協力して行動したり、助け合うことが大切だと思った。
- 1年間学んできたことを周りのみんなに伝えて、知ってもらえることができうれしかった。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 当事者の方や福祉専門職の方に講師（ゲストティーチャー）を依頼し、学校とつなぐ。
- 民生委員児童委員やボランティアに協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 福祉教材の貸し出しを行う。
- 児童や学校から質問があった際は、その都度当事者の方や地域の方とつなぐ。
- 社協広報紙で取り組みの周知を行う。





令和4年度実施
キラッとかがやく★
学校の取り組みをご紹介します！



東広島市立吉川小学校 3年生 14名

学校のねらい

- まち探検や同じ地域に住む人々へのインタビューから見つけた吉川の魅力について、さらに調べたり交流したりすることを通して、吉川の魅力についての考えを深め、表現することができる力をつけたい。
- 吉川の魅力は、地域に住む人々の様々な工夫や努力によって守られ、創り出されていることを理解し、児童が地域の一員として、自分たちにできることを主体的に考え、行動しようとする態度を育てたい。

取り組みの内容

①地域の方の、「吉川の魅力を知らない大学生がいることが寂しい」という想いに対して、自分たちにできることを考えよう！(社会と関連)



「吉川の魅力ガイドブック」を作成した。

②吉川の素敵なところを大学生に伝えるために、地域の人々に、吉川の魅力をインタビューしよう！

③地域の方々から教えてもらった吉川の魅力について、「もっと知りたい・広めたい」と思った吉川の人・もの・ことについて調べて、まとめたことを大学生に伝えて、広めよう！



⑥吉川の魅力をもっと増やすために、地域の人々と一緒にできることを考え、行動しよう！「吉川ハッピー大作戦②」



地域の人々に協力を呼びかけ、一緒にごみ拾い活動を行った。

⑤吉川に住む高齢者の方を元気にするために、自分たちにできることを考え、行動しよう！「吉川ハッピー大作戦①」

吉川げんき塾(通いの場)に参加し、地域の人々に吉川の魅力を発信した。

④高齢者が多い吉川で、自分たちができることを考えるために、高齢者の理解を深めよう！



地域の方々と一緒に高齢者疑似体験や、高齢者の生活についてインタビューを行った。

成果

- 児童が地域の課題を自分事として捉え、課題の解決に向けて、地域の人々と共に、主体的に行動することができた。
- 地域に住む高齢者の方々が吉川を守ってくださっていることに気づき、児童が地域を大切にしたい気持ちを持ち、よりよくするために地域に関わり続けようとする意欲を育てることができた。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 民生委員児童委員に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- 児童や学校から質問があった際は、その都度地域の方とつなぐ。
- 小学校区の地域懇談会であがった地域の方の声や思いを、学校や児童と共有。
- 社協広報紙で取り組みの周知を行う。



取り組んだ児童の声

- 吉川をもっと素敵なまちにするために、まちの人と一緒に活動ができてうれしかった。
- 4年生になっても、吉川を大切にしたい、まちの力になりたいと思った。



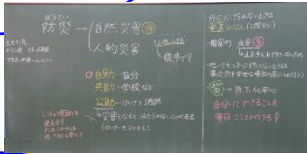
東広島市立福富小中学校 小学3・4年生 33名

学校のねらい

- ・福富町で自分の持ち味を生かした仕事や活動をしている地域の人々と出会い、その人たちの思いや考えを知ることで、福富の地域に誇りを持ち、自分の夢について考えることができる力をつけたい。
- ・自然を守ることと、災害のリスクを軽減することとの繋がりについて学び、福富に住む人たちと一緒に、まちや命を災害から守るために自分たちにできることは何かを考えようとする意欲を育てたい。

取り組みの内容

①福富のまちの自然や、まちで起こりうる自然災害について調べよう！



②地域の人々と一緒に、まちの自然を守る大切さについて考えよう！



③災害のリスクがある福富のまちで、自分たちができていることを考えるために、まちの防災士さんと一緒に、まちの災害リスクについて学ぼう！

④自分たちの住むまちで災害が発生した時に備えて、自分の命を守るための行動を試みよう！



自分の身の安全を守るよう、避難訓練に取り組んだ。

⑤福祉体験学習(車いす)に取り組み、平常時から周りの人々と助け合いながら生活できるよう、自分たちにできることを考えよう！



地域の人々や福祉専門職と一緒に取り組んだ。

⑥避難した後に、同じまちに住む人々と助け合いながら生活できるよう、自分たちにできることを考えよう！



日頃から身近にある物で、手作り防災グッズを作成。

成果

- ・自分たちが住むまちの自然は、地域の人々の活動や生活によって守られていることを学ぶことができた。
- ・災害に備えて、自分たちにできることを考え、また、日常における地域のとの繋がりや絆の大切さに気づくことができた。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- ・企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- ・地域で活動をしている住民の方に講師(ゲストティーチャー)を依頼し、学校とつなぐ。
- ・民生委員児童委員や福祉施設、更生保護女性会に協力を依頼し、学校とつなぐ。
- ・児童や学校が気軽に質問ができる関係性を築いた。

取り組んだ児童の声

- ・災害が起こる前に、「とにかく逃げる」ことが大切だと思った。
- ・福祉体験を通して、普段自分たちのことを見守ってくれている人たちを知ることができた。
- ・車いすでの生活は大変だと感じたが、周りの人々と協力し合えたら、安心して生活できると思った。





東広島市立風早小学校 5年生 19名

学校のねらい

- ・自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、友達とも協力して互いの良さを生かしながら、積極的に社会に参画し続けようとする気持ちを育てたい。
- ・早田原の地域に愛着をもち、地域の安全や環境などを守り、地域を発展させるために自分達にできることを考える力を育てたい。

取り組みの内容

①これまで起こった災害について調べて、まとめてみよう！

②風早の地域で災害が起きた場合の、自分や周りの人々の困り事を考えよう！

③平成30年豪雨で被災された方々の被災時の状況や実体験から被害の恐ろしさを知り、地域のためにできることを考えよう！

⑥これまでの学習から学んだこと、考えたことを、周りの人々や事業所の利用者や職員に広めよう！

⑤風早地域にある事業所を訪問し、利用者や職員に日頃気をつけていることや、災害が起きた場合に、不安に感じることをインタビューしよう！

④災害が起きた場合に備えて、避難に配慮が必要な方々と、助け合うことの大切さについて考えよう！

自分たちにどんなことができるか考えるために、地域の方々から直接話を聞いてみたい！



発表後、つばさの利用者と一緒にお仕事体験も行い、仕事に対する想いを共有した。



自立支援センターつばさの利用者や職員に、仕事への想いや、日頃の備えについてインタビューした。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

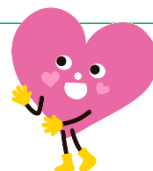
- ・施設の訪問にあたり、企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- ・学校から質問や確認があった際は、その都度協議し、連携を行った。

取り組んだ児童の声

- ・利用者さんには、1人ひとりに合った説明の方法で伝えることの大切さが分かった。
- ・つばさの存在は知っていたが、どのような場所かは知らなかった。実際に行ってみて、利用者さんがやさしく仕事を教えてくれたから、楽しかった。また行きたいと思った。

成果

- ・児童達の「知りたい」「伝えたい」という思いを大切に、児童の意志で取り組みを進めたことで、自分たちができることをより深く考えることができた。
- ・実際に自立支援センターつばさへ出向き、利用者や職員から話を聞くことで、防災の面での様々な工夫や、利用者がどのような想いを持って仕事をしているのか知ることができ、児童が福祉を自分事として考えることができた。



令和4年度実施



キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



東広島市立松賀中学校 1年生 140名

学校のねらい

- 高齢者の心身の特徴と生活及び高齢者の福祉について考え、体験的に学ぶことを通して、高齢者と助け合いながら生活するために、家族や地域及び社会の果たす役割について主体的に考えてもらいたい。
- 高齢者の生活について理解を深め、地域で暮らす高齢者の方が安心して生活できるよう、自分たちにできることを考える力を育てたい。

取り組みの内容

①東広島市で暮らす高齢者の生活・福祉の現状について学ぼう！

②高齢者の生活について、特に関心のあるテーマについて調べ、疑問に思ったことをまとめよう！

③地域の方々や福祉専門職と一緒に高齢者疑似体験に取り組み、学校や地域で生活する中で、どんな困りごとがあるか考えよう！

⑥取り組みを通して学んだことを振り返り、今後の生活の中で自分たちにできること、考察したことをまとめよう！

⑤認知症の方が安心して暮らせる地域になるよう、地域の方々や福祉専門職と一緒に、自分たちにできることを考えよう！

④高齢者の理解を深めるために地域の方々や福祉専門職に疑問に感じていることをインタビューしよう！



認知症サポーター養成講座を実施し、認知症の方が安心して暮らせる地域になるよう、地域の方々や福祉専門職と一緒に、自分たちにできることを考えよう！



同じ地域の民生委員児童委員や福祉事業所の方と一緒に、助け合うことの大切さについて考えた。

成果

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- 企画の段階から学校と話し合い、プログラムや内容について提案。
- 福祉専門職の方に講師(ゲストティーチャー)を依頼し、学校とつなぐ。
- 民生委員児童委員に、福祉専門職に協力を依頼し、学校とつなぐ。

- 地域の方々や、関係機関と交流する機会を持ちながら、一緒に学習を進めたことで、取り組み内容の充実に繋がった。
- 福祉体験実施後に、実際に専門職や地域の方々から高齢者についての話を聞いたことで、自分が地域でどのように行動することができるか、考えを深めることができた。

取り組んだ生徒の声

- 高齢者の方が安心して暮らせる社会にするために、未来を担う自分たちにできることを考え、行動していきたいと思った。





キラッとかがやく★ 学校の取り組みをご紹介します！



広島県立豊田高等学校 ボランティア部 13名

学校のねらい

- ・「地域に貢献できる人材の育成」を目標とし、地域との連携により、多様な体験や学びの機会を通じて、生徒により豊かに成長してもらいたい。
- ・自らの行動を適切に考え、決定し行動できる主体性や、コミュニケーション能力、課題を発見し解決する力を育てたい。

取り組みの内容

①地域の方と協働し、年間を通して、「風早小放課後子ども教室」の企画・運営を始めよう！

②自分たちの住むまちをより良くするために、赤い羽根共同募金の目的や募金の使い道を、児童と一緒に学ぼう！

③地域の人々に「赤い羽根共同募金」のことを知ってもらうために、自分たちにできることを、児童と一緒に考えよう！

⑤地域の行事に参加し、自分たちにできることを児童と一緒に実践しよう！

④まちをより良くするために、自分たちにできることを児童と一緒に実践しよう！

募金を広めるための工夫や、募金をされた方に感謝を伝える方法について、話し合った。

「火とグルメあきつフェスティバル」で募金の呼びかけを行った。



手作りの募金箱や募金をされた方へのメッセージカードを作成した。

社会福祉協議会（社協）のお手伝い

- ・学校や協働活動支援員と打ち合わせを行い、赤い羽根共同募金の目的や使いみちについて、放課後子ども教室で説明する。
- ・関係機関と連携しながら、取り組みを進める。
- ・社協広報紙や支所だよりで取り組みの周知を行う。



成果

- ・生徒・児童が赤い羽根共同募金の趣旨を理解し、主体的に募金活動に参加することができた。
- ・赤い羽根共同募金運動を通じて、生徒・児童の地域福祉やボランティア活動への関心が高まった。

取り組んだ生徒の声

- ・同じまちで過ごす小学校の児童たちと、もっと接点を持つことができないかと以前から思っていた。楽しい活動を一緒に重ねたい。
- ・みんなが少しずつ募金をすることで、多くの人のボランティア活動を応援できると感じた。

福祉教育のことなら、 まずは社会福祉協議会（社協）にご相談ください！

地域の様々な人材や社会資源とのつながりをもっています！

社協は地域福祉をすすめる団体です。そのために福祉教育を大切に、学校を含めた地域のさまざまな場面で進められる福祉教育の推進を目指しています。

福祉教育は学校と地域が連携しつつ、地域全体で取り組むことが大切ですが、社協はそのつなぎ役を担うことができます。

社協がお手伝いできること

◎学習プログラム企画の提案

○学習内容の企画

- ・学年に合ったプログラム企画の提案
- ・学校全体での企画の提案



◎講師(ゲストティーチャー)や施設の紹介・調整

○地域のゲストティーチャーの調整

○活動先・訪問先などの調整

(障がい当事者の方、福祉施設、自治会、民生委員児童委員ボランティアグループ、地域サロン、サークルなど)

○社協職員の派遣



◎発表や振り返りの場づくり

○学んだことの発表や振り返りの場づくり

- ・地域での発表の場(住民の集う場、地域の行事など)
- ・地域の方や様々な団体と話し合う場

先生方の思いを形にする
お手伝いをします！
まずはご相談ください！





目の不自由な方への理解を深める

◆アイマスク体験

視覚障がいといっても、全く見えない（全盲）わけではありません。様々な見え方や全く見えない（アイマスク）体験をして、その時の気持ちを感じたうえで、目の不自由な方の生活のお手伝いを体験します。（2時間）

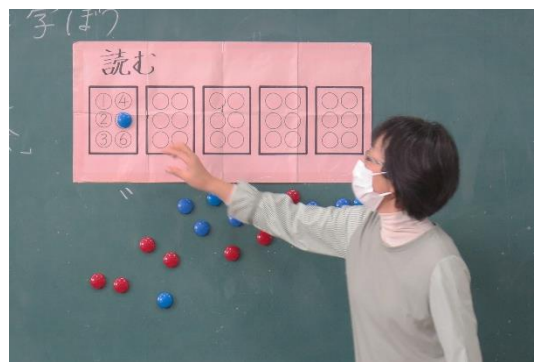
講師/協力団体 ・東広島市社会福祉協議会
・市内福祉施設等



◆点字体験

「点字は身近なところにある」、「点訳をするときのルール」などのお話や、実際に自分たちの名前を点字で打つ体験を行います。（2時間）

講師/協力団体 ・点訳サークル



◆音訳体験

全ての視覚障がい者が点字を読めるわけではありません。また点字が読める人でも、簡単かつ早く情報を入手するために、文字をテープに録音する「音訳」が多く利用されています。

視覚障がい者の方に聞きやすい・分かりやすい読み方などの体験をします。（2時間）

講師/協力団体 ・音訳サークル

※交通費等として 5,000 円程度の実費負担
をお願いします。



◆盲導犬の学習

「盲導犬とユーザーはどうやって歩くの?」、
「視覚障がい者って?」、「自分たちにできるこ
とは?」などについて、島根あさひ訓練センター
の職員の方から教えて頂けます。

最後には、盲導犬とのふれ合いも…? (2時間)

講師/協力団体 ・公益財団法人日本盲導犬協会
島根あさひ訓練センター

・東広島ウエストライオンズクラブ
TEL : (082)422-5464

※小学校は、東広島ウエストライオンズクラブから
3月に郵送されている案内をご覧ください。



耳の不自由な方への理解を深める

◆手話体験

聴覚障がいは、見た目ではわかりません。

「聞こえない人はどのような生活をしている
の?」「伝える気持ちの大切さ」といった説明や、
耳ではなく、見て伝える「言語」である手話につい
て学びます。(2時間)

講師/協力団体 ・手話サークル

※交通費等として 5,000 円程度の実費負担
をお願いします。



◆要約筆記体験

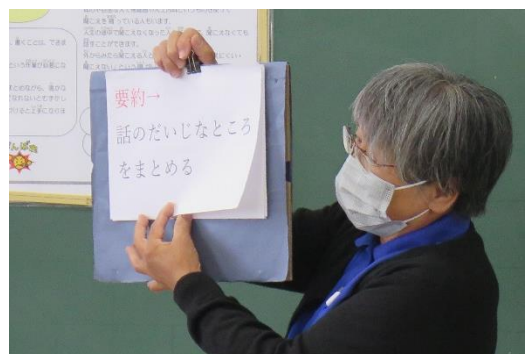
聴覚障がい者(特に中途失聴者や高齢者)の中
には、手話ができない方も多くいます。

そうした方に話の内容などを文字で伝えるのが
「要約筆記」です。

要約筆記のやり方や、言葉の伝わり方について学
びます。(2時間)

講師/協力団体 ・要約筆記サークル

※交通費等として 5,000 円程度の実費負担
をお願いします。





足の不自由な方への理解を深める

◆車いす体験

車いすの基本的な操作方法をはじめ、使い方（乗る・押す）を学びます。段差や坂道を体験したり、車いすに乗った状態で通ってみたりします。

実際に体験してみることで、たくさんの学びや気づきがあります。（2時間）

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会
・ 市内福祉施設等



高齢の方への理解を深める

◆高齢者疑似体験

「高齢者になったら体の状態はどうなる？」

「どんな気持ちなんだろう？」

筋力低下や関節の動きにくさを体験するような重りやサポーターを装着し、80歳位の身体を疑似体験します。体験を通じ、高齢者の気持ちを想像・理解します。（2時間）

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会
・ 市内福祉施設等



◆認知症サポーター養成講座

認知症とはどういう病気？どうやって認知症の方と接すれば良いのかな？

子どものうちから認知症についての正しい知識を身につけるとともに、誰もが安心して地域で暮らし続けることの大切さを学びます。（2時間）(高学年向け)

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会
・ 地域包括支援センター



防災・減災への理解を深める

地域では、防災倉庫設置や防災訓練実施など、防災・減災に向けた様々な取り組みが行われており、様々な世代の参画が求められています。当会でも2つのプログラムを実施しており、こうした防災・減災の学習を通して、つながりが生まれることで、災害時に助けあえる地域を目指します。



◆災害カードゲーム クロスロード

「クロスロード」とは、「岐路」「分かれ道」のこと。災害対応は、「人数分用意できない緊急食料をそれでも配るか」など、ジレンマを伴う重大な決断の連続です。1995年の阪神大震災の際、神戸市職員が実際に対応した状況を基に制作されています。

トランプ大のカードを利用した手軽な「Yes/No」ゲームではありますが、災害対応を自らの問題として考えることや、自分とは「異なる意見・価値観の存在」への気づきも得ることができます。（時間応相談）
（高学年向け）



講師/協力団体 東広島市社会福祉協議会

◆避難所運営ゲームHUG ～もしも、学校で避難所が開設されたら～

避難者やイベントの書かれたカードと、体育館や教室に見立てた用紙を用いて、どれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するカードゲームです。

いざという時に備え、災害発生時の対応について、一緒に考えてみませんか。（2時間）（高学年向け）



講師/協力団体 東広島市社会福祉協議会

◆楽しみながら防災を学ぼう～防災カルタ～

気軽に楽しみながら、防災について学びませんか？
地域や学校、会社等で災害時の事を考えるきっかけ
づくりに取り組むことができます。（30分～1時間）
（低学年～）
分かりやすい内容のため、カルタのみの貸出も可能
です。

講師/協力団体 東広島市社会福祉協議会



◆きいちゃんの避難ゲーム(和歌山県作成)

和歌山県が作成した避難ボードゲームです。冬場の悪天候の早朝に南海トラフ地震が発生する想定のもと、地震・津波災害時に避難場所にたどり着くまでの課題を体験し、事前準備の大切さを学ぶことができる、津波避難シミュレーションゲームです。津波から逃げ切った残り時間や事前準備などで得られる防災ポイントをチームで競います。（時間応相談）（高学年向け）

講師/協力団体 東広島市社会福祉協議会



その他、東広島市社会福祉協議会が経験した事例を元に、災害への備えや、小中学生でも出来るボランティアについての講話も可能です。

まずはご相談ください。



その他

◆福祉の職場魅力発見授業

未来を担う子ども達に、福祉・介護の仕事の「必要性」や「魅力」「やりがい」を伝えます。

人と関わり、そして誰かの生活を支えるこの仕事は、他では決して感じることはできない喜びがあります。進路選択の参考や、福祉の仕事を知るきっかけ等にいかがでしょうか。(1~2時間) (中高生向け)

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会
 ・ 市内福祉施設等
 ・ 介護福祉士会



◆映画「ケアニン~こころに咲く花~」

「ケアニン」とは、介護や看護、医療やリハビリなど、人の「ケア」に関わり、その仕事に誇りと愛情と情熱を持って働いている全ての人のことをいいます。福祉・介護に携わるケアニンの仕事に対する想いを身近に感じることができ、福祉・介護に関心を持つきっかけにもなる映画です。(2時間) (中高生向け)

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会
 ・ 介護福祉士会



進路指導の先生や、保護者の方にもおすすめです！

◆VR 車いす体験

広島国際大学と協働し、VR 動画を作成しました。実際に車いすユーザーの目線で、図書室を利用する際に不便なことを体験します。(1分40秒くらいの動画です。)

何気なく歩いているところが、車いすでは狭くて通りにくかったり、高いところの物が取りにくかったりと体験を通して気づいていただく内容となっています。**※新たに、車いすバスケットボール体験が可能となりました。通常の車いす体験と併せての実施を想定しています。**(2時間)

講師/協力団体 ・ 東広島市社会福祉協議会
 ・ 広島国際大学





◆動画教材・プリント教材の提供 (広島県介護福祉士会監修)

教育関係のみなさま

対象：小学6年生、中学1～3年生

子どもたちに今、伝えたい！超高齢社会の問題と介護の仕事をわかりやすく！
総合的な学習の時間で使える教材の提供

キャリア教育におススメ！

広島県介護福祉士会
監修

テーマ1(約4分)

超高齢社会と介護職の人材不足が影響する
日本の危機について学ぼう！

テーマ2(約20分)

現役中学生が最前線の介護職場に潜入！
プロの介護について学ぼう！

視聴時間



約**24分**



制作著作：テレビ新広島

動画教材提供

(視聴時間 24分程度)



URLから
読み取り

ふくしかいごネット

QRコードから
読み取り



問合せ先



広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会事務局
 (社福) 広島県社会福祉協議会 福祉人材課
 〒732-0816広島市南区比治山本町12-2
 TEL 082-254-3415 FAX 082-256-2228
 MAIL jinzai@hiroshima-fukushi.net

プリント教材提供

(授業プリント・解説プリント付き)



- 教材を提供希望の場合は、次のとおりメールにてご連絡ください。
 - メール件名欄に次のとおりご記入ください。
「教材提供希望」
 - メール本文に次の①～⑥の内容をご記入ください。
①学校名、②学年、③電話番号、④担当者名
⑤プリント必要数、⑥アンケート回答予定者数
 - メール宛先
広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会 事務局 宛
jinzai@hiroshima-fukushi.net
- 事務局からご担当者宛に次の内容を郵送します。
 - 授業プリント ●プリント解説書
 - アンケート用紙 ●アンケート返信用封筒
- 授業で教材を使用後、返信用封筒を使用してアンケート結果を事務局宛にご提出ください。今後の事業の参考にさせていただきます。

令和5年度は

市内42の学校・保育所が 福祉教育に取り組みました！



西条小学校3・5年生

高美が丘小学校4年生

松賀中学校1年生

寺西小学校3年生

三ツ城小学校3年生

黒瀬中学校3年生

郷田小学校3年生

板城西小学校3年生

河内小学校3年生

板城小学校3年生

上黒瀬小学校3年生

豊栄中学校1～3年生

三永小学校3年生

乃美尾小学校3年生

河内中学校2年生

川上小学校3年生

中黒瀬小学校4年生

安芸津中学校2～3年生

吉川小学校3年生

下黒瀬小学校3年生

もみじ小学校中学校小学5～中学3年生

八本松小学校3・5年生

豊栄小学校1～6年生

黒瀬高等学校2～3年生

小谷小学校3年生

入野小学校3年生

賀茂北高等学校

高屋東小学校3年生

三津小学校4年生

河内高等学校3年生

造賀小学校3年生

木谷小学校4～6年生

河内西保育所年少～年長

東西条小学校3年生

風早小学校3・5年生

豊田高等学校

平岩小学校3年生

龍王小学校4～5年生

賀茂高等学校定時制

御園宇小学校3年生

八本松中学校3年生

木谷保育所年少～年長

福祉教育のことなら

まずは社会福祉協議会(社協)へご相談ください!

名称	所在地	連絡先
あったかひがしひろしま 応援センター	〒739-0003 東広島市西条土与丸 1108	TEL (082) 422-4075 FAX (082) 423-8525
あったかくろせ 応援センター	〒739-2612 東広島市黒瀬町丸山 1286-1	TEL (0823) 82-2026 FAX (0823) 81-0340
あったかふくとみ 応援センター	〒739-2303 東広島市福富町久芳 1545-1	TEL (082) 435-2247 FAX (082) 435-2098
あったかとよさか 応援センター	〒739-2311 東広島市豊栄町乃美 2841-1	TEL (082) 432-2083 FAX (082) 432-2145
あったかこうち 応援センター	〒739-2201 東広島市河内町中河内 1206-1	TEL (082) 420-7011 FAX (082) 437-0281
あったかあきつ 応援センター	〒739-2402 東広島市安芸津町三津 4398	TEL (0846) 45-0201 FAX (0846) 46-0025

私達は福祉教育の内容を充実させるため、新しい取り組みをしていきたいと考えております。先生のお考えや思いが“ヒント”になります。
ぜひお近くの応援センターまで、思いやご意見を聞かせてください。



この事業は、東広島市社会福祉協議会会費・赤い羽根共同募金の配分金の活用など、地域の方の様々な支援で実施しております。